

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念を、職員と関る人(家族、取引先、主治医、地域)すべてと共有していく。	理念の掲示、唱和は引き続き行い、外部にもそれを周知して頂けるような環境作り。	全職員が理念や目標を共有できるような話し合い、意見交換の場を設け、実践に繋げていく。	3ヶ月
2	23	利用者の思いや意向の把握と、それに反映したケアプランの作成。	その人らしい暮らしが続けられるよう、その人に合った支援への取り組み。	各利用者担当の職員が、思いや意向を確認し、気づきや少しの情報も、職員同士で共有しながら支援、ケアプランにつなげていく。	3ヶ月
3	33	終末期のあり方について学び、看取りへの理解を深め取り組んでいく。	看取り支援が受け入れ可能な体制作り。	家族が安心して看取りを受けて頂けるよう、職員、関係者と共にチームで支援に取り組んでいく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。